

The image features a large, textured blue area that resembles a book cover or a piece of fabric. The texture is a fine, woven pattern. The top edge of this blue area is slightly irregular, suggesting it might be a scan of a physical object. The text '資料編' is printed in white, bold, sans-serif characters on the right side of the blue area.

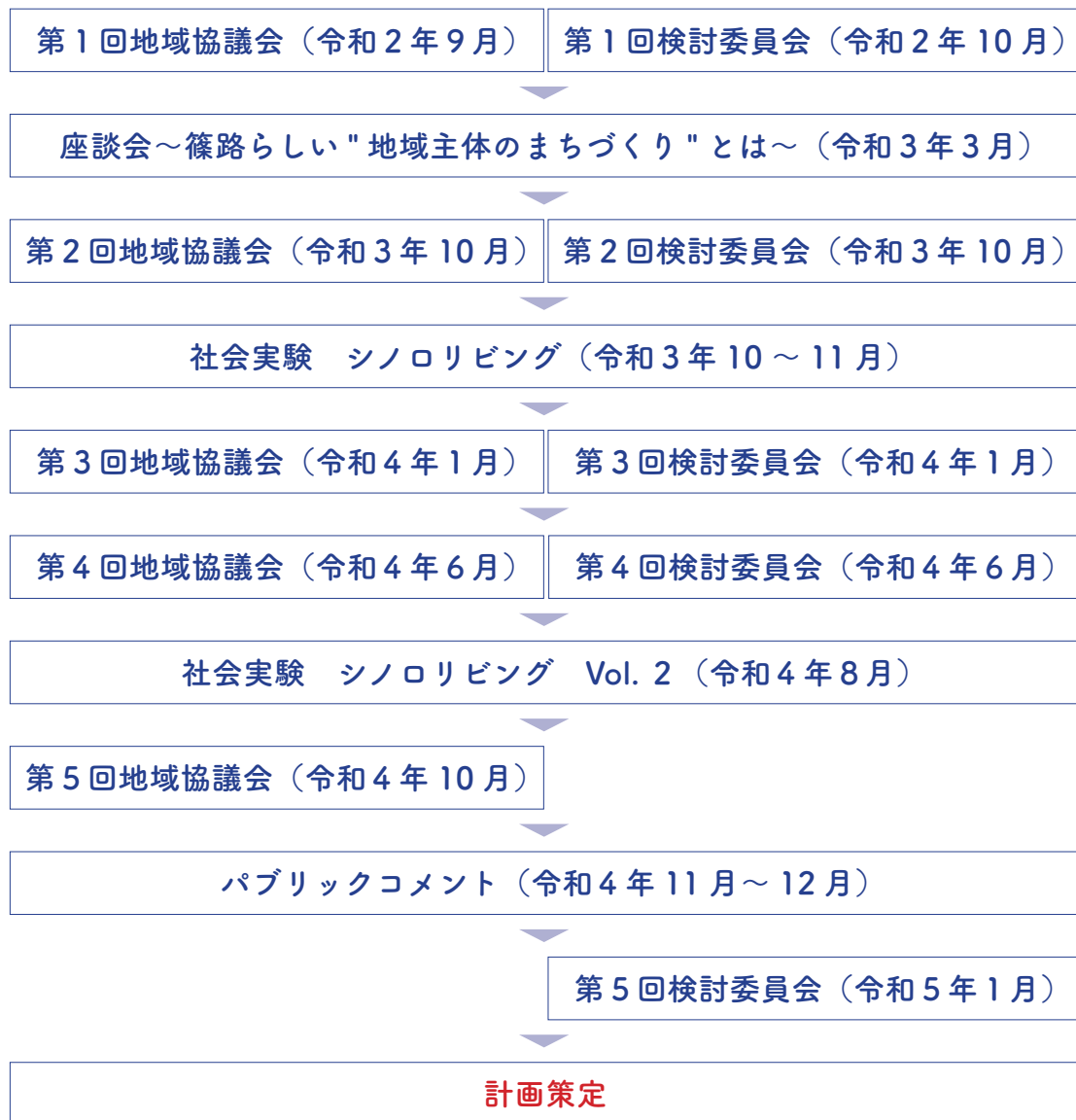
資料編

資料編

1 計画策定までの過程

本計画の策定にあたっては、地域の皆様のご協力のもと、ワークショップやアンケート調査の結果を基礎とし、地域住民の視点から意見交換を行う「地域協議会」及び専門的知見から意見を計画に反映する「検討委員会」を設置し、並行して協議を行いながら検討を進めてきました。策定過程は以下のとおりです。

まちづくり計画策定までの過程



2 地域協議会

地域協議会の委員及び開催概要は以下のとおりです。

地域協議会委員

太平百合が原連合町内会 / 会長	庵跡 邦子
篠路地区街づくり促進委員会 / 会長	井形 信広
わきあいあい篠路まちづくりの会 / 会長	石本 依子
篠路茨戸地区社会福祉協議会 / 会長	白戸 黎一 (藤井 國夫)
篠路茨戸連合町内会 / 会長	進藤 幸司
アカツキ交通株式会社 / 常務取締役	春原 啓慶
札幌市立篠路小学校 PTA / 会長	丹藤 大智 (菊地 智昭)
篠路中央商店街振興組合 / 副理事長	寺田 哲
拓北・あいの里連合町内会 / 会長	長尾 由紀子 (近藤 幸一)
区画整理地権者	中西 昌裕
篠路駅前郵便局 / 局長	西村 司
札幌市篠路コミュニティセンター / 館長	本橋 幸子 (吉田 香) (吉田 美雪)
篠路神社 / 宮司	森 泰文
しのろ紙袋ランタンまつり実行委員会 / 実行委員長	吉田 愛美

※ () は、旧委員 ※敬称略

開催概要

第1回	令和2年9月11日 篠路コミュニティセンター 1階ホール	篠路駅周辺地区の現況とまちづくりの方向性について
第2回	令和3年10月5日 篠路コミュニティセンター 1階ホール	まちづくり計画素案について ●重点エリアの方向性について ●地域主体のまちづくりの「活動・取組」について
第3回	令和4年1月21日 WEB会議サービスを利用した オンライン会議	まちづくり計画素案について ●今後の展開について ●地域主体のまちづくりの「活動・取組」について
第4回	令和4年6月14日 篠路コミュニティセンター 1階ホール	まちづくり計画(案)について
第5回	令和4年10月11日 篠路コミュニティセンター 1階ホール	まちづくり計画(案)について ●庁内議論の結果報告 地域主体のまちづくり活動について ●社会実験の結果報告

3 検討委員会

検討委員会の委員及び開催概要は以下のとおりです。

検討委員会委員

篠路地区街づくり促進委員会/会長	井形 信広
札幌駅前通まちづくり株式会社 /統括マネージャー	内川 亜紀
北海道大学大学院工学研究院/教授	小澤 丈夫
北門信用金庫篠路支店/支店長	熊谷 和宏 (森 雅哉)
株式会社アークス/ 店舗開発グループゼネラルマネージャー代理	佐藤 直樹
篠路茨戸連合町内会/会長	進藤 幸司
北星学園大学 経済学部/教授	鈴木 克典
北海道旅客鉄道株式会社総合企画本部地域計画部/主幹	野澤 憲士
JA さっぽろ篠路支店/統括支店長	渡邊 直樹

※ () は、旧委員
※敬称略

開催概要

第1回	令和2年10月7日 篠路コミュニティセンター 1階ホール	篠路駅周辺地区の現況とまちづくりの方向性について
第2回	令和3年10月28日 篠路出張所 2階会議室	まちづくり計画素案について ●重点エリアの方向性について ●地域主体のまちづくりの「活動・取組」について
第3回	令和4年1月31日 WEB会議サービスを利用した オンライン会議	まちづくり計画素案について ●今後の展開について ●地域主体のまちづくりの「活動・取組」について
第4回	令和4年6月28日 篠路コミュニティセンター 1階ホール	まちづくり計画(案)について
第5回	令和5年1月18日 篠路コミュニティセンター 1階ホール	まちづくり計画(案)について (パブリックコメントを受けて) パブリックコメントの意見概要報告

4 シノロナビ

地域協議会及び検討委員会などの開催概要についてシノロナビ（篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター）を発行し、地域の皆様にお知らせしました。

シノロナビ SHINORO TOWN NAVIGATION

篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター

VOL. 18 令和2年（2020年）8月

「まちづくり計画」の策定、始まります

札幌市では、これまで篠路駅周辺地区において鉄道高架、土地区画整理、道路整備等の社会基盤整備の検討を進めてきました。

本年度は、今後整備される社会基盤を生かし、市有地や駅前を活用した賑わいづくりや、地域の皆さんの多様なまちづくり活動の展開等、地区の魅力向上を目指す今後のまちづくりの方向性を示す「（仮称）篠路駅周辺地区まちづくり計画」の策定に着手します。

「まちづくり計画」とは？

計画策定にあたり、地域を代表する「地域協議会」の皆さま、および専門的知見から「検討委員会」の皆さまにご意見をいただきながら計画を策定していきます。今年度は「地域協議会」および「検討委員会」とともに各3回の開催を予定しています。

地域協議会	検討委員会
第1回 9月11日（金）（予定）	第1回 10月7日（水）（予定）
第2回 11月頃（予定）	第2回 12月頃（予定）
第3回 2月頃（予定）	第3回 3月頃（予定）
第4回 春頃（予定）	第4回 春頃（予定）
第5回 秋頃（予定）	第5回 秋・冬頃（予定）

パブリックコメント*

※「パブリックコメント」とは？
計画案への意見を広く募集し、寄せられた意見を考慮して計画を策定するとともに、その意見等に対する考え方を公表する手続きです。

シノロナビ SHINORO TOWN NAVIGATION

篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター

VOL. 18 令和2年（2020年）8月

地域協議会・検討委員会の開催について

地域協議会及び検討委員会は席の間隔を確保して傍聴席を設ける予定です。各会の第一回目は下記の通り開催します。

第1回 地域協議会	第1回 検討委員会
日時 9月11日（金） 18:30～	日時 10月7日（水） 18:30～
会場 篠路コミュニティセンター 1階ホール	会場 篠路コミュニティセンター 1階ホール

※新型コロナウイルス感染症の影響により、会議日程等を変更する場合があります。変更した場合は、ホームページでお知らせします。

【傍聴を希望される方へのお誘い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予防対策を行った上で開催いたします。傍聴を希望される方につきましては以下の点にご協力をお願いいたします。会議の内容はホームページやシノロナビでも紹介しますので、体調に不安のある方は傍聴をご遠慮ください。

- ✓ 自宅での検温、健康チェック
- ✓ マスクの着用などによる咳エチケットの徹底
- ✓ 手指消毒剤の使用（会場入口等に設置）
- ✓ 他の傍聴人と距離を空けての着席
- ✓ 会場入口にて傍聴者名簿へのご記入（お名前、ご住所、ご連絡先）
- ✓ 上履きの持参

まちづくり計画とは？

「まちづくり計画」は住民、事業者の皆さんや行政が目指すまちづくりの方向性を共有して、将来像に向かってそれぞれ取組を進める指針となります。これからまちに移り住む住民や事業者の方々などにも、まちの将来像を伝えることに役立ちます。

篠路駅周辺地区では右図の社会基盤整備を生かしながら、現在の篠路の地域活動、平成28年度に実施したワークショップの成果「みんなの想い」などを基にまちづくり計画の検討を進めていきます。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：大路・若林

SAPPORO TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113 MAIL jigyousushin-kai@city.sapporo.jp

シノロナビ SHINORO TOWN NAVIGATION

篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター

VOL. 19 令和2年（2020年）10月

第1回地域協議会、第1回検討委員会を開催しました。

篠路駅周辺地区の新たなまちづくり計画について、第1回地域協議会が9月11日に、第1回検討委員会が10月7日に開催されました。第1回目は両会とも篠路の現状およびこれまでのまちづくりの検討状況について共有し、篠路駅周辺地区のまちづくりの方向性について意見をいただきました。概要は以下のとおりです。（当日の資料や議事要旨はHPに公開いたします。）

現状とまちづくりの方向性について

これまでのワークショップやその他の調査・検討結果より、篠路駅周辺地区の基本理念と目指すまちの将来像を以下のように設定しました。

また、篠路駅東側の土地区画整理事業区域を含む駅前エリアと市有地周辺の東エリアをまちづくり重点エリアと設定し、まちづくりの方向性を素案として示しました。

基本理念 目指すまちの将来像

- 誰もが「暮らし」を支えるまち
- 暮らしやすく「つなぎ」を紡ぐまち
- 笑顔あふれるまち「魅力」を創造するまち

第1回 地域協議会の概要

【日時】9月11日（金）18時30分～20時30分 【内容】① 篠路駅周辺地区の現状とまちづくりの方向性について共有 ② 今後の「活動・取組」の明確化について意見交換

第1回地域協議会でいただいた主なご意見（抜粋）

- ① 現状や期待すること
- ② 今後の補強に必要な取組み

西側エリアは銀行や医療が集中している中、東エリアは異なる用途が来て機能を分担してもよい！

20～30年後を想定したまちづくりで、人口を流出させない取組が必要！

魅力的な取り組みづくりのきっかけとして、若い人に魅力を伝えるための情報発信が大切！

シノロナビ SHINORO TOWN NAVIGATION

篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター

VOL. 19 令和2年（2020年）10月

第1回 検討委員会の概要

【日時】10月7日（水）18時30分～20時15分 【内容】① 篠路駅周辺地区の現状とまちづくりの方向性について意見交換 ② 今後の検討事項について意見交換

第1回検討委員会でいただいた主なご意見（抜粋）

- 鉄道高架化や土地区画整理事業を契機に良いまちづくりを進めるための計画にしよう！
- 地域協議会のほかに幅広く地域の方々と巻き込んで、自由な発想でまちづくりに取り組める場があるといい！
- 集客なのか？生活の場なのか？駅周辺が、底にとってどういう街であるべきかの「空間像」を描いていくことが重要！
- 市有地だけでなく、旧夢劇川沿いの建築やまよとした空き地なども地域の資源として活用していく視点が必要！
- 市有地については、今のマーケットに合わせるのではなく、民間事業者の参画を促し、出可能性を喚起させるような取組が必要！
- 商業施設を誘致するなら、商業人口が確保されていることが大前提！

次回日程

地域協議会及び検討委員会の第2回目は、下記のとおり開催する予定です。各会とも席の間隔を確保して傍聴席を設ける予定です。

第2回 地域協議会	第2回 検討委員会
日時 11月24日（火） 19:00～	日時 12月23日（水） 19:00～
会場 篠路コミュニティセンター 1階ホール	会場 篠路コミュニティセンター 1階ホール

【傍聴を希望される方へのお誘い】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予防対策を行った上で開催いたします。傍聴を希望される方につきましては以下の点にご協力をお願いいたします。会議の内容はホームページやシノロナビでも紹介しますので、体調に不安のある方は傍聴をご遠慮ください。

- ✓ 自宅での検温、健康チェック
- ✓ マスクの着用などによる咳エチケットの徹底
- ✓ 手指消毒剤の使用（会場入口等に設置）
- ✓ 会場入口にて傍聴者名簿へのご記入（お名前、ご住所、ご連絡先）
- ✓ 上履きの持参

※新型コロナウイルス感染症の影響により、会議日程等を変更する場合があります。変更した場合は、ホームページでお知らせします。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：大路・若林

SAPPORO TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113 MAIL jigyousushin-kai@city.sapporo.jp

資料編

検討委員会の学識者等委員による座談会を開催しました。

篠路駅周辺地区の新たなまちづくり計画の策定に向けて地域協議会、検討委員会の実施を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響で第2回以降の開催が延期となっております。また予断を許さない状況にあるなか、第1回の地域協議会、検討委員会で議論した「地域主体のまちづくり」の灯を消さないために、検討委員会に参加している学識者等による座談会を開催いたしました。(人数の都合は注意が必要な状況ですので、パネリストを検討委員会委員から学識者等の3名に絞り、マスクの着用や換気などの対策を講じた上で実施いたしました。)

座談会の内容をまとめた抄録は札幌市のホームページに公開していますので、是非ご覧ください。

学識者等による座談会

【日時】3月18日(木) 11時30分～12時30分 【パネリスト】
 【場所】篠路コミュニティセンター 2階会議室
 鈴木克典委員(北海道大学経済学部/教授) 鈴木克典委員(北海道大学工学部/教授/教員)
 小澤丈夫委員(札幌医科大学) 小澤丈夫委員(札幌医科大学)
 内川聖紀委員(札幌駅前通まちづくり株式会社/経営マネージャー)

座談会でいただいた主なご意見(抜粋)

歴史・文化と自然が非常に豊かで、まちを歩くたびに感じる。 昔ながらのお店などが残っている。子育てと一緒に、いきなり100年ではなく、10点20点の小さなことから育てることが重要。

テーマ1 篠路地区の魅力について
 テーマ2 魅力を活かしたこれからのまちづくりについて

小澤委員: とても歴史のあるまち、そのポテンシャルを活かしたい。
 鈴木委員: まちは「育てる」もの。子育てと一緒に、いきなり100年ではなく、10点20点の小さなことから育てることが重要。
 内川委員: 「緑道をお茶を飲みたい」ぐらいの思いから始めてもいいと思う。日常の生活とまちの景色を組み合わせると、居心地の良い場所を見つけやすくなる。



小澤丈夫委員 鈴木克典委員 内川聖紀委員

メッセージ

好きなこと、小さいことからどんどんやってほしい。いま素晴らしい活動がされている方・団体も、色々な地方を取り入れて新しい価値を創ってほしいです！
 小さな取組から、色々な世代の人が参加して頂けるようなことを模索してほしいです！



まちづくり計画策定のスケジュール(予定)

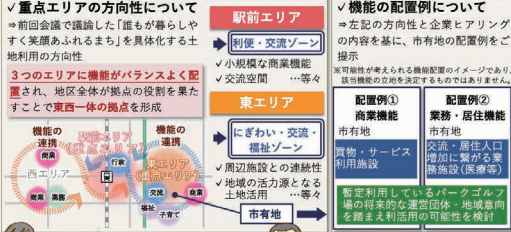
令和3年度までに地域協議会・検討委員会を各5回ずつ開催し計画を策定する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、第2回の地域協議会・検討委員会の開催が延期となっております。今後、各会5回程度議論を経た上で、令和4年度の計画策定を目指しています。今回の開催時期が決まりましたら、ホームページなどでお知らせします。

地域協議会	検討委員会
地域のみなさんを代表する方々と情報共有・意見交換を行い、目指すべきまちづくりの方向性や地域活動への展開について話し合います。	目指すべきまちづくりの方向性や土地利用について、専門的知見が意見をいただき、計画を検討します。
第1回 9月11日(金)	第1回 10月7日(水)
第2回～第5回	第2回～第4回
パブリックコメント	
第5回	
まちづくり計画の策定	

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：大路・西原
 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
 TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
 MAIL jgyousushin-kei@city.sapporo.jp メールアドレスは2次元QRコードから読み取れます！

第2回地域協議会、第2回検討委員会を開催しました。

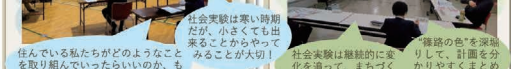
篠路駅周辺地区の新たなまちづくり計画策定に向けた、第2回地域協議会が10月5日に、第2回検討委員会が10月28日に開催されました。両会とも、前回会議の振り返りと補足やまちづくり重点エリアの方向性、期待される機能、そして市有地に考えられる配置例についてご提示し、ご意見を頂きました。また、今年度実施する社会実験のご説明や、地域協議会では地域主体のまちづくり活動について意見交換を行いました。概要は以下のとおりです。当日の資料や議事要旨は札幌市公式HPに公開いたします。



第2回 地域協議会の概要

【日時】10月5日(日) 18時30分～21時00分
 【場所】篠路コミュニティセンター 1階ホール
 【出席】委員12名
 【議題】主なご意見(抜粋)

商業は、小さな単位でお店を作るぐらいがイメージしやすい。
 社会実験は楽しい時期だが、小さくても出来ることからやってみてほしい。
 地域は、色んな人が集まることで、まちづくりが出来る。
 地域は、色んな人が集まることで、まちづくりが出来る。



第2回地域協議会における地域主体のまちづくり活動の意見交換については、次回においても引き続き検討を重ねる予定です。

篠路駅前の屋外空間を活用した社会実験「シノロリビング」を開催しました。

10月31日(日)～11月7日(日)にかけて、屋外空間を活用した社会実験「シノロリビング」を開催しました。この取組は、地域協議会・検討委員会でご意見のあった「屋敷づくり」「コミュニティづくり」「少しづつ街を変えていく仕組み」等の必要性を踏まえて、今後の空間整備やコミュニティ活動の発展に向けた「スタートによるまちぞく」の第一歩として実施したものです。今後もこうした機会を重ねて、爽やかな官民連携・地域主体のまちづくりに展開していけるよう、引き続き活動への積極的なご参加と、取組へのご理解を賜りますようお願い致します。



ランタンの展示等を行ったしのろ紙袋ランタまつり実行委員会、空間に影を添えたボタニカルガーデンのナットとしのろ2、ご出席頂いた各団体のキョウテンカなど、たくさんの方々に協力いただきました！



今後の日程

地域協議会及び検討委員会の第3回目は、下記のとおり開催する予定です。各会とも席の間隔を確保して併席席を設ける予定です。

日時	会場
令和4年1月21日(金) 19:00～	篠路コミュニティセンター 1階ホール
令和4年1月31日(月) 18:30～	篠路コミュニティセンター 1階ホール

※新型コロナウイルス感染症の影響により、会議日程等を変更する場合があります。変更した場合は、札幌市公式HPでお知らせします。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：大路・平
 〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
 TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
 MAIL jgyousushin-kei@city.sapporo.jp メールアドレスは2次元QRコードから読み取れます！

シノロナビ

SHINORO TOWN NAVIGATION

Vol. 22 令和4年(2022年)3月

篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター

第3回地域協議会、第3回検討委員会を開催しました。

篠路駅周辺地区の新たなまちづくり計画策定に向けた、第3回地域協議会を1月21日に、第3回検討委員会を1月31日に開催しました。両会とも、前回会議で議論したまちづくりの方向性を実現させるための「まちづくりの展開」について意見交換をしたほか、次年度以降のまちづくり活動、取組(シノロリビングなど)の実施方針について意見交換を行いました。特に地域協議会では、シノロリビングでの活動、取組のアイデアを数多く頂きました。

概要は以下のとおりです。当日の資料や議事要旨は札幌市公式HPに公開いたします。

まちづくりの展開(基本的な考え方)

まちづくりの考え方 段階的なエリア価値の向上

【ポイント】

- ①市有地A・C街区は、今後の周辺の土地利用の需要を誘発する機能的な立地が図られるよう、先行して検討、整備。
- ②社会基盤整備や市有地A・C街区の進捗を踏まえて市有地B街区や駅前街区の利活用を柔軟に検討。
- ③地域主体の活動と運動しながらエリア価値の向上を図る。

まちづくり計画: 8街区、駅前街区(検討・整備)活用 / A街区、C街区(活用) / まちづくり活動の醸成 / 社会基盤整備(土地区画整理・鉄道高架化等)

方向性の共有: 共有段階 / 多様なまちづくり活動 / 豊かで持続的なまち / 協働段階 / 魅力・コミュニティの発展 / 成熟段階

次回の社会実験を見据えたロードマップ

第1回シノロリビング(10/16-11月) アンケートや地域協議会でのご意見をもちに次回の企画内容検討・調整

第2回シノロリビング(12/16-1月) 地域のみなさんとの出店調整など、来ご協力いただける方が集まれば、別な意見交換の場を設定

第3回地域協議会 次回社会実験に向けたアイデアの整理

第4回地域協議会 第2回シノロリビングの企画内容の精査

参考: 対象地周辺の位置図

市有地A、B、Cや駅前街区の位置は以下の通りです。

【ポイント】

- ①令和4年度にもシノロリビングを実施することを検討。
- ②地域の方に聞いてもらえる方法を模索していく予定。
- ③社会実験の検証を行ったうえで、今後の可能性を検討。

シノロナビ

SHINORO TOWN NAVIGATION

Vol. 23 令和4年(2022年)7月

篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター

第4回地域協議会、第4回検討委員会を開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、オンラインで開催しました！

委員の皆様をオンラインで接続し、会議を行いました。委員の皆様ご協力を頂き、無事に開催することができました。資料や議事要旨は札幌市HPに公開いたしますので、当日傍聴にいられた方もぜひご覧ください！

第3回 地域協議会の概要

【日時】1月21日(金) 19時00分～20時45分
【場所】web会議サービスを利用したオンライン会議
【出席】委員13名

主なご意見(抜粋) 駅前街区がどうなっていくの関心がある。行政施設などが集約になるとよいのではないかと。子どもや学生による発達の場として、道路大型や部活動など連携できるとよい！

第3回 検討委員会の概要

【日時】1月31日(月) 18時30分～20時30分
【場所】web会議サービスを利用したオンライン会議
【出席】委員9名

主なご意見(抜粋) 計画は地域の思いを将来に伝えるもの！

計画策定の流れ

地域協議会	検討委員会	主な議題
令和2年度 第1回 9月	第1回 10月	規制やまちの方向性
令和3年度 第2回 10月	第2回 10月	重点エリアの方向性
第3回 1月	第3回 1月	まちづくりの展開
第4回	第4回	まちづくり計画(案)の確認
令和4年度(予定) 第5回	第5回	まちづくり計画(案)の最終確認

※「パブリックコメント」とは？ 計画案への意見を広く募集し、寄せられた意見等を考慮して計画を策定するとともに、その意見等に対する考え方を公表する手続です。

これまでのまちづくりや、地域協議会・検討委員会開催の情報はこちらの二次元QRコードからもご覧いただけます！

検索: 篠路駅周辺 まちづくり

今後の会議予定等は、変更する場合があります。変更した場合は、札幌市公式HPでお知らせします。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当: 甲・由緒・大畑
〒060-8511 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyou@sushin-kei@city.sapporo.jp

シノロナビ

SHINORO TOWN NAVIGATION

特別号 令和4年(2022年)6月

篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター

篠路駅前に広場をつくる社会実験 SHINORO LIVING Vol.2 シノロリビング

社会実験実施期間 2022.8/25-8/28 11:00-20:00 (曜日によって時間を変更予定)

まちづくりの協力者を募集します！

公募期間 2022. 6/17(金) - 7/18(月)

募集するコンテンツ

ステージ活動 令和4年度は小ステージを設置予定です。(ステージのサイズは約3.6m×1.8m) 楽器演奏など、ステージ上で表現できる活動を募集します。

場所 篠路駅東口(北区篠路3条7丁目)

申込方法 詳しくは札幌市ホームページをご確認ください。ページ内に添付の参加申込書(Word・PDF)に必要な事項を記載の上、下記のメールアドレスを添付してご返信ください。(URL: https://www.city.sapporo.jp/keikaku/partnership/shinoro/shinoro.html) ホームページでご覧になれない方は参加申込書をご郵送いたしますので、下記担当までご連絡ください。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当: 金野、甲、吉原
〒060-8511 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyou@sushin-kei@city.sapporo.jp
札幌市HP: https://www.city.sapporo.jp/keikaku/partnership/shinoro/shinoro.html

シノロナビ

SHINORO TOWN NAVIGATION

Vol. 23 令和4年(2022年)7月

篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター

第4回地域協議会、第4回検討委員会を開催しました。

篠路駅周辺地区の新たなまちづくり計画策定に向け、第4回地域協議会を6月14日に、第4回検討委員会を6月28日に開催しました。概要は以下のとおりです。当日の資料や議事要旨は札幌市公式ホームページに公開いたします。

内容① まちづくり計画について

まちづくり計画の策定について確認しました。※詳細については、札幌市公式ホームページをご確認ください。

篠路駅周辺地区について重点エリアの方向性や駅前街区および市有地A・B・Cの土地利用の方針、地域主体のまちづくり活動の方針などについて議論を進めました。

内容② シノロリビングの企画案

今年度実施するシノロリビングの企画案を確認しました。

第1回シノロリビング 芝生広場を用途、キッチンカーを誘致するなど思いの場を創出

※「シノロリビング」とは？ 将来的「居場所」や「コミュニティ」の可能性を探る社会実験

第2回シノロリビングの考え方 実施する取組や地域の関わり方を増やす

ポイント 夏祭の実施、取組コンテンツの拡大、多世代の交流、地域連携

※企画の内容は、今後の告知ボスター等で詳しくご紹介いたします！

内容③ 計画策定後の展開について

まちづくり計画策定後どのように地域主体のまちづくり活動を展開させるべきか、特に地域協議会では各街に分かれて意見交換を行いました。

まちづくり計画策定後、どのような取組、つながり、第4回地域協議会を踏まえて、今後の地域参加の場や人・組織などが地域に必要な、意見交換を行いました。

第4回 地域協議会の概要

【日時】6月14日(火) 18時30分～20時30分
【場所】篠路コミュニティセンター 1階ホール
【出席】委員13名

主なご意見(抜粋) 土日の社会実験は人が集まるので、コミュニティが広がる！

個別の意見交換 課題や悩み、目標を語り合える新たな機会が必要！

主なご意見(抜粋) エリア全体アプローチする仕組みが必要！

主なご意見(抜粋) 社会実験を継続すれば、地域と一緒に空間づくりに繋がります！(公園・広場の規制のあり方、高架下活用など)

主なご意見(抜粋) まちづくり計画策定後も、地域の活動として社会実験を継続したほうが良い！

主なご意見(抜粋) アイデアを出す会議と、それを支える組織があるといい。ノウハウある方が若い人フォローするような関係性ができるとよい。

主なご意見(抜粋) いきなり地域だけで活動を運営するのは難しい。軌道定まるまでは行政に支援してほしい！

計画策定の流れ

地域協議会	検討委員会	主な議題
令和2年度 第1回(9月)	第1回(10月)	現状やまちの方向性
令和3年度 第2回(10月)	第2回(10月)	重点エリアの方向性
令和3年度 第3回(1月)	第3回(3月)	まちづくりの範囲
令和3年度 第4回(6月)	第4回(6月)	まちづくり計画(案)の確認
令和4年度 第5回(10月予定)	第5回(1月予定)	まちづくり計画(案)の最終確認

※「パブリックコメント」とは？
計画案への意見を広く募集し、寄せられた意見等を考慮して計画を策定するとともに、その意見等に對する考え方を公表する手段です。

※今後の会議予定等は、変更する場合があります。変更した場合は、札幌市公式HPでお知らせします。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：金野・平・吉原
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyousushin-kei@city.sapporo.jp

シノロナビ SHINORO TOWN NAVIGATION

特別号 令和4年(2022年)7月

篠路駅前広場をつくる社会実験 SHINORO LIVING シノロリビング vol.2

2022 8/25(木)～8/28(日) 10:00～20:00 (予定)

開催理由 篠路駅周辺では、約10年かけて社会基盤整備が進み、「まちの姿」が変わろうとしています。

場所 篠路駅東口駅前 北区篠路3条7丁目 ※徒歩又は公共交通機関にてお越しいただきますようお願いいたします。

コンテンツ 今回のシノロリビング vol.2では、昨年のコンテンツに加え、新たな要素を追加します！

今日の社会実験

「小さくてもできる取組から始める「スモールスタート」の第一歩として秋に開催！」

●野菜マルシェや地域飲食の出店
●遊び・運動・活動の場(移動式本屋)
●篠路の歴史・伝統や地域内の文化活動を発表
●ものづくり系のワークショップ

※詳細については8月中旬に札幌市公式ホームページ(下記お問い合わせ先参照)にてお知らせいたします。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：金野・平・吉原
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyousushin-kei@city.sapporo.jp

シノロナビ SHINORO TOWN NAVIGATION

VOL. 24 令和4年(2022年)10月

第5回地域協議会を開催しました。

篠路駅周辺地区の新たなまちづくり計画策定に向け、第5回地域協議会を10月11日に開催しました。概要は以下のとおりです。当日の資料や議事要旨は札幌市公式ホームページに公開いたします。

第5回 地域協議会の概要

【日時】10月11日(火) 18時30分～20時00分
【場所】篠路コミュニティセンター 1階ホール
【出席】委員12名

①まちづくり計画について 行政協議の結果や、計画策定までの流れ(詳細は下記)について確認しました。

②シノロリビングvol.2について シノロリビングvol.2の実験案(詳細は裏面)について確認しました。

③今後のまちづくり活動の展開について

「日常的な居心地」を良くしてまちを魅力的にする取組
「探検を通してまちを楽しみながら徐々に活動者・参加者を増やす取組」等により「質にかき変化」を生み出していく場(アクションファーストの場)

主なご意見(抜粋) 社会実験の実験者の交流手段を踏まえた展開が考えられるとよい！

主なご意見(抜粋) もっと地域が関わるとよい！

主なご意見(抜粋) 若い世代の意見もあるとよい！

主なご意見(抜粋) 学生とも連携できるとよい！

計画策定の流れ

地域協議会	検討委員会	主な議題	パブリックコメント
令和2年度 第1回(9月)	第1回(10月)	現状やまちの方向性	計画案への意見を広く募集し、寄せられた意見等を考慮して計画を策定するとともに、その意見等に對する考え方を公表する手段です。
令和3年度 第2回(10月)	第2回(10月)	重点エリアの方向性	
令和3年度 第3回(1月)	第3回(3月)	まちづくりの範囲	
令和3年度 第4回(6月)	第4回(6月)	まちづくり計画(案)の確認	
令和4年度 第5回(10月)	第5回(1月予定)	まちづくり計画(案)の最終確認	

※今後の会議予定等は、変更する場合があります。変更した場合は、札幌市公式HPでお知らせします。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：金野・平・吉原
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyousushin-kei@city.sapporo.jp

篠路駅前広場をつくる社会実験「シノロリビング Vol.2」を開催しました。

8月25日(木)～28日(日)にかけて、広場をつくる社会実験「シノロリビングVol.2」を開催いたしました。この取組は、地域協議会・検討委員会でご意見のあった「屋場所づくり」「コミュニティづくり」「少しずつ街を変えていく仕組み」等の必要性を踏まえて、今後の空間整備やコミュニティ活動の発展に向けた「スモールスタートによるまちぞで」の第一歩として、昨年度に引き続き第2回目として実施したものです。

1 普段は空き地の空間に、芝生や組立式の和傘などを設置して憩える場を用意。昨年度に引き続きキッチンカーにもご参加いただき、子どもから大人まで多くの来場者にご利用いただきました！

2 今年度はより多様なコンテンツを用意し、たくさんのお客様にご協力いただきました！ただ座って飲食をするだけでなく、ステージ演奏、地域文化、ワークショップ、物販などを利用・体験したり、交流の機会が創出されました。

3 夜も照明やランタンで雰囲気を出し、レジン看板に動画を投影して夜の利用も検証しました。

4 「トークイベント」も開催。地域や出店者の方に、熱い思いを語っていただきました！

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：金野・平・吉原
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyousushin-kei@city.sapporo.jp

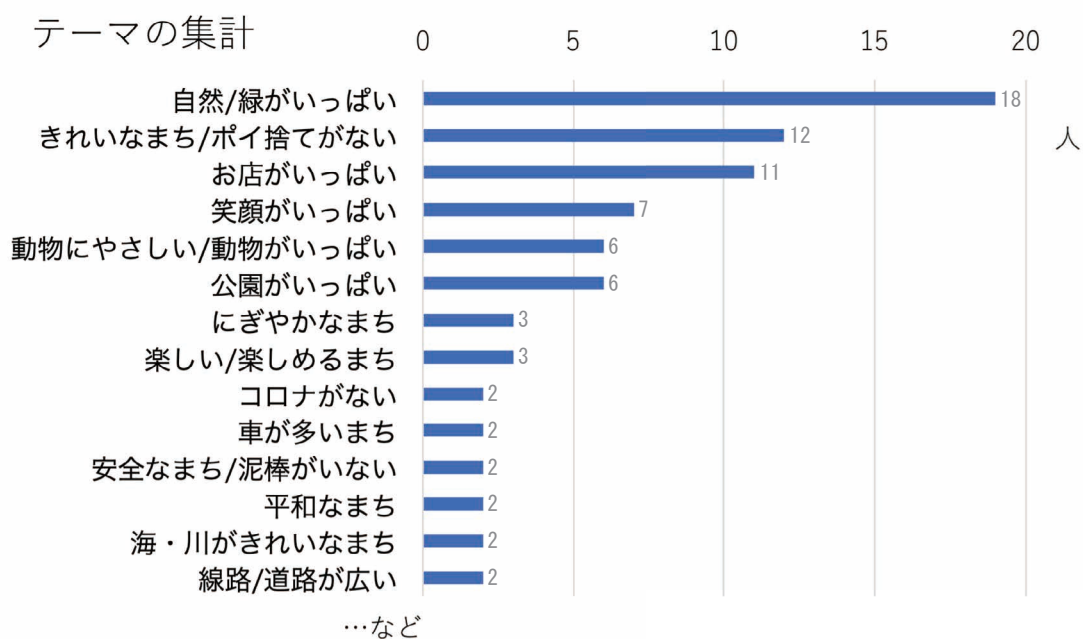
5 篠路小学校との連携事業

篠路小学校の開校 150 周年記念事業と連携する形で、3 年生（令和 3 年度）の児童の皆さんに、篠路がどんな「まち」になったら、もっと住みたい「まち」になるかイメージして、絵を描いていただきました。本計画書の表紙にも使用しています。

連携事業の概要

期間	令和 3 年 7 月～11 月
対象	篠路小学校 3 年生（1～3 組）
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり講座の実施 札幌や篠路のまちの歴史や、まちのルールなどまちづくりに関するミニ講座や、篠路でのまちづくりの概要説明 ●「私たちが住みたい篠路のまち（〇〇がいっぱいのまち）」をテーマに絵を作成 作成していただいた絵画は篠路コミュニティセンター 1 階ロビーに展示させていただきました。 （展示期間：令和 3 年 10 月 1 日～11 月 1 日）

絵画のテーマの集計



6 社会実験「シノロリビング」

まちの「居場所」や地域の「コミュニティ」の可能性を探ることを目的に社会実験「シノロリビング」を実施しました。

開催にあたりポスターを作成し、周知しました。

篠路駅前には広場をつくる社会実験

SHINORO LIVING

シノロリビング

例えば、駅前がまちのリビングに
まちに住む人が、気軽に訪れ、顔を見せ、
ちよつと立ち寄れる空間ができれば、どうだろうか？

篠路駅周辺では、鉄道高架化・土地区画整理事業、道路整備事業により、まちの姿が変わっていきます。将来のまちの暮らしを見据え、駅前空間の活用や地域の方々が利用する場の可能性を探ります。

篠路駅周辺を管むまちづくりの第一歩目として、まずつかってみることから始めてみませんか？

通り過ぎるだけだった駅前であつとくつろいでみたら、篠路の新たな魅力が再発見できるかもしれません。

社会実験1

広場空間活用 (芝、テーブル・イスなど)

- 滞在できる空間 (芝、テーブル・イスなど)
- キッチンカー
- 情報提供板
- トークイベントやワークショップの開催も予定

※詳細については随時、FACEBOOK ページ、札幌市ホームページ (下記お問い合わせ先参照) にてお知らせいたします。

社会実験2

地域活動利用

※アイデア募集中

■ 出店キッチンカー

10.31 (日)	JB' s crepes (クレープ、ガレット)
	MONWASSICOFFEE (コーヒー、中国茶)
11.3 (水)	JB' s crepes (クレープ、ガレット)
	可楽井カフェ (泡おやき)
11.5 (金)	VEGETAVOLA EDOYA (バイリンミー、スープ morning owl (コーヒー))
11.6 (土)	JB' s crepes (クレープ、ガレット)
	morning owl (コーヒー)
11.7 (日)	JB' s crepes (クレープ、ガレット)
	morning owl (コーヒー)

■ イベント

11.6-7	和室組立ワークショップ
10.00-12.00	和室組立ワークショップ
11.7	トークイベント
13:00-15:30	トークイベント

〔(仮) 篠路の地域主体のまちづくりを考える〕
篠路の将来について話し合います。実施にお越しください。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：吉原・犬路・平

TEL 060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113

MAIL jigoyousishin-kei@city.sapporo.jp
札幌市HP https://www.city.sapporo.jp/keikaku/partnership/shinoro/p_shinoro.html
FACEBOOKページ <https://www.facebook.com/SHINOROLIVING/>
FACEBOOK (※の二次元バーコードからもアクセスできます。)

※会場に駐車場はございませんので、徒歩又は公共交通機関にてお越しください。

※以下状況により中止となる場合がございますので、事前に札幌市ホームページ (右記お問い合わせ先参照) をご確認くださいませ。

※新型コロナウイルスの影響により緊急事態宣言等の自粛要請が決定された場合、雨天の場合など

スケジュール:

日	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20 (祝)
10.31 (日)											
11.01 (月)											
11.02 (火)											
11.03 (水)											
11.04 (木)											
11.05 (金)											
11.06 (土)											
11.07 (日)											

■ 実施時間 ■ キッチンカー ■ イベント

※1 上記のほか、地域団体の活動歴を予定しています
※2 寒さ対策として断ストロープを用意しています

篠路駅前広場をつくる社会実験

SHINORO LIVING

2022.8.25(木)-28(日)

2022.8.25(木)-28(日)

8.25(木)

8.26(金)

8.27(土)

8.28(日)

実施場所：篠路駅前

※ご来場の際は、徒歩又は公共交通機関をご利用ください。
※令和4年4月より篠路駅構内の撮影ができなくなったしております。来場の際はご注意ください。

【新型コロナウイルス感染症拡大対策について】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対策を講じて実施いたします。来場の際はマスクの着用(密・短・密)を怠らないうえ、手洗いや消毒を徹底し、大声での会話はお控えください。また、飲食のご利用は出来る限り短時間でのご利用(またはお持ち帰り)にご協力ください。

① 厚生労働省HP「国民の皆様へ(新型コロナウイルス感染症)」
② 厚生労働省HP「国民の皆様へ(新型コロナウイルス感染症)」
③ 厚生労働省HP「国民の皆様へ(新型コロナウイルス感染症)」

■飲食・物販

1) キッチンカー (曜日により出店者が異なります)

- ① 8/25(木)、8/27(土)
 - ・B's crepes
 - ・MOWA531 COFFEE
 - ・クレペール
 - ・ゲルアタ
 - ・スナック
 - ・からあげ、豚丼
- ② 8/26(金)、8/28(日)
 - ・MOWA531 COFFEE
 - ・クレペール
 - ・ゲルアタ
 - ・スナック
 - ・からあげ、豚丼

2) 野菜マルシェ

- あいのさとワークセンター ▶ 野菜販売
- ① 寺田文庫
- ② 寺田文庫

3) 図書

- あいのさとワークセンター ▶ 移動式本屋(総本)
- ① 寺田文庫
- ② 寺田文庫

■体験・交流

- 1) ランタン しのろ紙袋ランタン祭り実行委員会
- 2) キャンプ空間 ほつとしのろ21
- 3) ステージ演義 ドラマみち(8歳) from「ロイロイロ」
- 4) 映像放映 ① 8/25(木)

- 18:00~19:00 ▶ 保羅司会活動
- 19:00~20:00 ▶ 短編アニメ上映

5) ワークショップ (以下、WS)

- 8/25(木)、8/26(金) ▶ 親子の体験
- 8/25(木)、8/26(金) ▶ チャレンジの機会
- 8/25(木)、8/26(金) ▶ 買い物の機会
- 8/25(木)、8/26(金) ▶ 図書とのふれあい
- 8/25(木)、8/26(金) ▶ 文化の発信
- 8/25(木)、8/26(金) ▶ 夜間の照明

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

社会実験実施期間

2022.8.25(木)-28(日)

8.25(木)

8.26(金)

8.27(土)

8.28(日)

実施時間	10:00~10:00	10:00~11:00	11:00~12:00	12:00~13:00	13:00~14:00	14:00~15:00	15:00~16:00	16:00~17:00	17:00~18:00	18:00~19:00	19:00~20:00
飲食	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー	キッチンカー
物販	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ	野菜マルシェ
体験	ランタン	ランタン	ランタン	ランタン	ランタン	ランタン	ランタン	ランタン	ランタン	ランタン	ランタン
交流	映画放映	映画放映	映画放映	映画放映	映画放映	映画放映	映画放映	映画放映	映画放映	映画放映	映画放映
子ども遊び	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間	キャンプ空間

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

※各実施時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更の可能性があります。

お問い合わせ先 札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 担当：金野・平・吉原
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎4階
TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113
MAIL jigyousuisshin-kei@city.sapporo.jp

SAPPORO

札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課

TEL 011-211-2706 FAX 011-218-5113

MAIL jigyousuisshin-kei@city.sapporo.jp

SHINORO LIVING facebook

SHINORO LIVING Instagram

札幌市HP

礼拝者HP

礼拝者HP

礼拝者HP

礼拝者HP

礼拝者HP

7 パブリックコメント

「篠路駅周辺地区まちづくり計画（案）」（以下、「本計画」という。）について、より良い計画にしていくため、パブリックコメント手続により、市民の皆様のご意見を募集しました。

お寄せいただいたご意見の概要と、そのご意見に対する札幌市の考え方を掲載します。なお、本計画が対象としていない内容のご意見は掲載しておりません。

(1) 概要

1) 意見の募集期間

令和4年（2022年）11月15日（火）から12月14日（水）までの30日間

2) 意見の提出方法

郵送、持参、FAX、電子メール、ホームページの意見募集フォーム

3) 資料の配布・閲覧場所

- 札幌市役所本庁舎（2階市政刊行物コーナー、4階まちづくり政策局都市計画部事業推進課）
- 各区役所（市民部総務企画課広聴係）
- まちづくりセンター（篠路茨戸、太平百合が原、拓北・あいの里）
- 篠路コミュニティセンター
- JR 篠路駅
- 札幌市公式ホームページ

4) 意見の内訳

① 意見提出者数 11名

■年代別内訳

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
人数	0	0	0	1	3	4	1	2	11

■居住地別内訳

居住地	北区	市内他区	道内他市町村	道外	不明	合計
人数	9	2	0	0	0	11

■提出方法別内訳

提出方法	郵送	持参	FAX	電子メール	HP	合計
人数	5	1	0	3	2	11

② 意見件数 83 件

■意見分類別内訳

分類	件数	構成比
第1章 計画策定の背景	12	14%
第2章 まちづくりの現状	11	13%
第3章 まちづくり基本方針	17	20%
第4章 実現に向けた展開	27	33%
その他	16	19%
合計	83	100%

※構成比については、各分類で四捨五入しているため、合計と一致しません。

(2) ご意見に基づく変更点

	該当箇所	修正前	修正後	修正理由
1	本書2P 1-2位置	当地区は、札幌北ICから車で約15分、丘珠空港より車で約11分の位置です。鉄道では札幌駅と約20分の位置で接続しており	当地区は、鉄道では札幌駅から約20分の位置、車では札幌北ICから約15分、丘珠空港から約11分の位置で接続しており	同ページ内で、交通手段の記載順序が統一されていないため、修正いたします。
2	本書6P 1-3位置付け (2)第2次札幌市都市計画マスタープラン	先行的に取り組む4つの地域交流拠点	先行的に取り組む4つの地域交流拠点（新さっぽろ、真駒内、篠路、清田）	関連計画の内容理解に必要な4つの地域交流拠点についての説明を追加いたします。
3	本書7P 1-3位置付け (3)札幌市立地適正化計画	集合型居住誘導区域と都市機能誘導区域が同一	集合型居住誘導区域と都市機能誘導区域の範囲が同一	図の表現をわかりやすいものとするために説明文を修正いたします。
4	本書7P 1-3位置付け (4)篠路駅周辺地区まちづくり実施計画	「篠路駅周辺地区まちづくり事業計画」の実現に向けた事業精査・検討を行い、地区が抱える課題を解決するために、社会基盤整備の事業化と具体的な整備内容	「篠路駅周辺地区まちづくり事業計画」の社会基盤整備（土地区画整理・鉄道高架・道路整備事業）に関わる事業精査・検討を行い、地区が抱える課題を解決するために具体的な整備内容	関連計画の必要な補足説明として記載を追加いたします。
5	本書8P 1-5まちづくり重点エリア	篠路駅周辺地区は、東8丁目・篠路通、篠路中央通（花畔札幌線）、篠路通の3つの道路の縦軸と、それを結ぶ横軸（横新道）の幹線道路・公共交通（バス）により、北区北部地区（太平・百合が原地区、及び拓北・あいの里地区）と繋がっています。また、JR学園都市線でも繋がっています。これらの軸と機能集積の状況から地区を3つのエリアで捉えることができます。	篠路駅周辺地区は、縦軸となる鉄道（JR札幌線）、幹線道路（東8丁目・篠路通、篠路駅中央通（花畔札幌線）、篠路通）及びこれらの道路を通行するバスにより北区北部地区（太平・百合が原地区、及び拓北・あいの里地区）と繋がっています。また、篠路駅前及び縦軸を繋ぐ横軸の道路（横新道）との交差点付近には多様な機能が集積しており、交通軸と機能集積の状況から地区を3つのエリアで捉えることができます。	鉄道・幹線道路・バスを含め全体の文章を精査し、北区北部3地区と篠路駅周辺地区の交通状況等の文章表現を修正いたします。

6	本書15P 2-3主要な施設 (3)高校・大学など	北海道教育大学 北海道医療大学	北海道教育大学札幌校 北海道医療大学 札幌あいの里キャンパス	北区北部3地区にある施設の正式な名称に修正いたします。
7	本書22P 2-5交通機能 (2)公共交通機関	(記載なし)	(JR札沼線の便数のデータを追加)	公表データを基に公共交通に関する現況を補足するデータを追加いたします。
8	本書44P 3-3まちづくり重点エリア(2)各重点エリアの方向性 1)駅前エリア 概要版7P 3-2まちづくりの方向性 (2)駅前エリア	北区北部3地区の行政機能の中心となっていますが	北区北部3地区の行政機能を支えるエリアとなっていますが	記載内容の精査及び本計画全体の表現を確認の上、篠路出張所が行っている行政サービスの内容に即した表現に統一いたします。
9	本書46P 3-4地域主体のまちづくり活動の方向性 (3)持続できるまちづくり体制を構築する 概要版8P 3-2まちづくりの方向性 (4)地域主体のまちづくり活動 3)持続できるまちづくり体制を構築する	多様な担い手 学生	多様な担い手例 高校生、大学生等	大学生に限定するものではなく、高校生や大学生等多様な主体の可能性があるのであることがわかるように表現を修正いたします。
10	本書48P 3-5北区北部3地区の地域交流拠点としての役割 (1)北区北部3地区の現況	(記載なし)	(図の凡例を追記)	図が示すデータの内容を理解しやすくするために必要な凡例を追加いたします。
11	本書52P 4-1土地利用の実現に向けた展開 (1)駅前街区	地域の特産品などを扱う魅力的な店舗のイメージ、多目的に利用できる空間イメージ	買い物施設や飲食店などの商業機能のイメージ、多世代が集まり交流できる機能のイメージ	本文の説明と写真との関係性がわかるよう写真タイトルを修正いたします。

(3) ご意見の概要と市の考え方

意見番号	該当ページ	ご意見の概要	市の考え方
第1章 計画策定の背景（背景と目的）			
1	本書2P 概要版1P	「※3 道路整備事業」について具体的な説明がないため記載すべき。	本書2P下段の注釈に、道路整備事業（道路の新設や車道・歩道の拡幅工事、歩道のバリアフリー化により、道路利用者の移動円滑化を図る事業）について記載しております。さらに詳細な説明につきましては、本書7Pに記載しております篠路駅周辺地区まちづくり実施計画に記載しております。
2	本書2P 概要版1P	「北部3地区」と言いながら、「篠路」だけしか具体の記述がない。地域交流拠点になっていない「あいの里」等の位置付けを札幌市はどのように考えているのか。	篠路駅周辺地区まちづくり計画は、篠路駅周辺地区に関するまちづくりについての考え方を示したものであるため、篠路を中心とした内容となっております。篠路やあいの里を含む北区北部地区は、主に一般住宅地又は郊外住宅地に位置づけられており、目指す都市空間に応じた魅力あるまちが形成されることが重要と考えております。
第1章 計画策定の背景（位置）			
3	本書2P	交通アクセスについて、なぜ鉄道が3番目に記載されているのか説明を記載すべき。	交通アクセスについては代表的な例を掲載しております。ご意見を踏まえ、本書2Pの「1-2位置」の1～2行目前半の文章と、2行目後半の文章の交通手段の順序が異なっているため、統一するよう修正いたします。 【修正前】当地区は、札幌北ICから車で約15分、丘珠空港より車で約11分の位置です。鉄道では札幌駅と約20分の位置で接続しており 【修正後】当地区は、鉄道では札幌駅から約20分の位置、車では札幌北ICから約15分、丘珠空港から約11分の位置で接続しており
第1章 計画策定の背景（位置付け）			
4	本書4P、 5P、12P 概要版1P	地域交流拠点の用語説明と、指定した経緯を記載すべき。 「地域交流拠点」は、地下鉄駅に比べJR駅は数か所しか指定されていない。 あいの里ではなく、篠路を地域交流拠点とした理由は、また、篠路を開発するのはなぜか。	地域交流拠点については、本書4～5Pに記載の「札幌市まちづくり戦略ビジョン（平成25年策定）」において定められました。用語については本書5Pに記載しております。 また、篠路地区は第2次都市計画マスタープランにて、鉄道高架事業などの社会基盤整備を契機として、拠点としての機能・魅力の向上に向けて取り組むとしており、現在まちづくり計画の策定を進めております。
5	本書6P	「先行的に取り組む4つの地域交流拠点」の記載をすべき。	先行的に取り組む4つの地域交流拠点とは、新さっぽろ、真駒内、篠路、清田を指します。 ご意見を踏まえ、記載を追記いたします。 【修正前】先行的に取り組む4つの地域交流拠点 【修正後】先行的に取り組む4つの地域交流拠点（新さっぽろ、真駒内、篠路、清田）
6	本書7P	「集合型誘導地域と都市機能誘導地域が同一」とあるが「同一」の場合、何を示すのか記載がない。	ご意見を踏まえ、集合型居住誘導区域と都市機能誘導区域の「範囲」が同一であることがわかるように表現を修正いたします。 【修正前】集合型居住誘導区域と都市機能誘導区域が同一 【修正後】集合型居住誘導区域と都市機能誘導区域の範囲が同一

7	本書7P	平成14年に策定した「篠路駅周辺地区まちづくり事業計画」の実現に向けた事業精査・検討とはどのようなことか記載すべき。	社会基盤整備に関わる事業精査を行っていることが分かるよう、表現を修正いたします。 【修正前】「篠路駅周辺地区まちづくり事業計画」の実現に向けた事業精査・検討を行い、地区が抱える課題を解決するために、社会基盤整備の事業化と具体的な整備内容 【修正後】「篠路駅周辺地区まちづくり事業計画」の社会基盤整備（土地区画整理・鉄道高架・道路整備事業）に関わる事業精査・検討を行い、地区が抱える課題を解決するために具体的な整備内容
---	------	--	--

第1章 計画策定の背景（まちづくり重点エリア）

8	本書8P	2行目の「公共交通（バス）」が縦軸か横軸か不明である。	ご意見を踏まえ、修正いたします。 【修正前】篠路駅周辺地区は、東8丁目・篠路通、篠路中央通（花畔札幌線）、篠路通の3つの道路の縦軸と、それを結ぶ横軸（横新道）の幹線道路・公共交通（バス）により、北区北部地区（太平・百合が原地区、及び拓北・あいの里地区）と繋がっています。また、JR学園都市線でも繋がっています。これらの軸と機能集積の状況から地区を3つのエリアで捉えることができます。 【修正後】篠路駅周辺地区は、縦軸となる鉄道（JR札幌線）、幹線道路（東8丁目・篠路通、篠路駅中央通（花畔札幌線）、篠路通）及びこれらの道路を通行するバスにより北区北部地区（太平・百合が原地区、及び拓北・あいの里地区）と繋がっています。また、篠路駅及び縦軸を繋ぐ横軸の道路（横新道）との交差部付近には多様な機能が集積しており、交通軸と機能集積の状況から地区を3つのエリアで捉えることができます。
---	------	-----------------------------	--

第1章 計画策定の背景（検討の過程）

9	本書9P 概要版2P	本書9P「1-6検討の過程」4行目に「地域の皆様のご意見」とあるが、「地域の皆様」とは「連合町内会」の範囲に限られているのか。	平成28年度の「篠路駅周辺地区まちづくりワークショップ」は連合町内会の住民に限らず、広く市民の皆様にご参加いただけるワークショップとして開催いたしました。また、平成30年度の「篠路駅周辺地区のまちづくりに関するアンケート調査」については、北区北部3地区にお住まいの18歳以上の市民の方を対象といたしました。
10	本書9P 概要版2P	検討委員会の学識委員はどのように選任したのか。	検討委員会の学識者は、専門性と、本計画の対象となる土地利用、地域主体のまちづくり活動について、これまでの審議会等の実績を勘案し、依頼しております。

第2章 まちづくりの現状（地域特性、交通特性）

11	本書15P	北海道教育大学は「北海道教育大学札幌校」、北海道医療大学は「北海道医療大学あいの里キャンパス」と記載すべき。	ご意見を踏まえ、修正いたします。 【修正前】北海道教育大学、北海道医療大学 【修正後】北海道教育大学札幌校、北海道医療大学札幌あいの里キャンパス
12	本書16P	北区北部地区の市民利用施設の位置を示す図を掲載すべき。	本計画は、篠路駅周辺地区における篠路駅東側の駅前街区及び市有地をはじめとした低未利用地の土地活用や、地域主体のまちづくり活動の方向性・展開を示すことを目的としております。 本書17Pに示す主要な施設をはじめ、当地区の現況及びまちづくりに必要な視点を整理するため、図の範囲を篠路駅周辺地区としております。 行政施設である市民利用施設は、北区北部地区内の施設を整理しております。篠路出張所を除き、篠路・茨戸地区、太平・百合が原地区、拓北・あいの里地区にそれぞれ立地していることを示すものであることから、地図表記は行っておりません。

13	本書21P	平成25年度に策定した「篠路駅周辺地区まちづくり実施計画」の策定過程について記載すべき。	本計画は、「篠路駅周辺地区まちづくり実施計画」にて考え方を示す社会基盤整備を契機とした低未利用地の利活用や、地域主体のまちづくり活動の方向性・展開を示すものであるため、概要を記載しております。
14	本書36P 概要版3P	人口減少・少子高齢化が進む中、篠路地区は市内でも比較的地価が安く、子育て世代から高齢者には魅力的な転入要素と捉えられる。	本計画ではまちづくりの視点1として、「若い世代、高齢者が住み続けたいまちづくり」を掲げております（本書38P）。今後も続く人口減少・高齢化を見据え、子育て世代の継続的な流入に繋がる篠路の魅力の維持向上と、若い世代が住み続けたい仕掛け、高齢者にとって住みやすいまちづくりが必要と認識しております。
第2章 まちづくりの現状（土地利用）			
15	本書12P	年表中、JR札沼線の変遷について記載がない。	篠路駅周辺地区のまちづくりに係る年表として、篠路駅周辺地区のまちづくりに関する概要を中心に記載しています。
16	本書17P	市有地A・B・Cの従前の利用状況と空地になった経緯を、明示すべき。	市有地A・Cについては、土地利用の具体化までの暫定的な利活用として、除雪業者等へ貸付を行っています。市有地Bについては、パークゴルフ場として市民の利用に供しております。 なお、市有地A・B・Cについては取得当初より空地の状況です。
17	本書22P	バス路線に関連して、乗降客数を記載すべき。	バスについては、乗降客数の統計データが公表されていないため、便数を整理しています。また、JR札沼線の便数の記載がないため追記いたします。
18	本書24P	地区計画について、北区北部地区で決定している地区計画は掲載すべき。	本計画は、篠路駅周辺地区における篠路駅東側の駅前街区及び市有地をはじめとした低未利用地の土地活用や、地域主体のまちづくり活動の方向性・展開を示すことを目的としております。 ご指摘の本書24Pに示す地区計画をはじめ、篠路駅周辺地区の現況及びまちづくりに必要な視点を整理するため、図の範囲を篠路駅周辺地区としております。
19	本書38P 概要版4P	他地区と同じような画一的な駅前とするのは良くない。	本計画ではまちづくりの視点5として、「魅力ある地域資源の共有」を掲げ、篠路らしい魅力あるまちづくりを目指しております（本書38P）。駅前街区は民有地であることから、地権者と本計画の考えを共有し、協議を行いながら篠路地区の個性や特色を生かした土地利用について検討していく必要があると考えます。
20	本書38P 概要版4P	駅前の再開発に合わせた賑わいづくりが必要である。	本計画ではまちづくりの視点4として「にぎわい・交流の場の創出」を掲げております（本書38P）。駅前街区は民有地であることから、地権者と本計画の考えを共有し、協議を行いながら視点を踏まえた土地利用について検討していく必要があると考えます。

第3章 まちづくり基本方針（地域資源）

21	本書42P、44P、46P、58P 概要版5P、7P、8P、11P	<p>郷土資料館などで文化を保存すべき。</p> <p>軟石倉庫やレンガ倉庫は歴史的価値を鑑み、所有者の意向を尊重しつつ保存活用の機運が醸成されることを願う。</p> <p>軟石倉庫を利用した雑貨・家具・インテリアショップを誘致してほしい。</p> <p>篠路駅高架・建て替えに当たり、歴史が受け継がれるよう配慮すべき。</p> <p>丸メ線街道踏切撤去の際には、標識の保存など歴史が受け継がれるよう配慮すべき。</p> <p>駅舎を保存活用し、篠路の郷土資料館として利用できるとよい。</p>	<p>魅力ある地域資源の共有はまちづくりに必要な視点と考慮しております。郷土資料館は原則行政により運営されるものではないこと、また、ご意見を頂いた施設は札幌市の資産ではないことから、本計画では保存等について具体的な考え方を示すことはできませんが、地域主体のまちづくり活動の中で「既存資源の有効活用」を掲げております。令和4年度の社会実験の中でも地域の皆様に篠路の文化・歴史を伝える活動に取り組んでいただきました。</p> <p>なお、「札幌市文化財保存活用地域計画」では、市民のふるさと意識を育む各地域の文化財については、地域との関わりを保ちながら継承されることが文化財の価値や魅力を引き出す上で重要との考え方が示されております。</p> <p>地域の資源を伝える方法は様々ありますが、その文化財を大切にし、次の世代に伝えていきたいという地域の思いが重要であることから、地域の自主性を尊重していきたいと考えております。</p>
22	本書46P 概要版8P	五ノ戸の森緑地を子どもが遊びやすく、生物多様性のあふれる公園に整備して欲しい。	都市緑地である「篠路五ノ戸の森緑地」は「札幌市公園整備方針」に基づき、緑の保全のため施設整備は老朽化に伴う施設の更新を行います。今後も生物多様性に配慮した整備、管理を行ってまいります。
23	本書46P 概要版8P	五ノ戸の森緑地は自然のまま残すべきだが、散策路や、倒木の処理など最低限の整備を行うべき。	緑地を利用する方々の安全確保のため、遊歩道にかかる倒木、危険木などの処理は随時、行っております。
24	本書46P 概要版8P	篠路駅から篠路神社へのアクセスがしやすくなると良い。	篠路駅前から篠路神社に通じる篠路駅東通、篠路駅中央通（花畔札幌線）については、歩道拡幅整備・バリアフリー化により歩行環境の整備を進めており、アクセシビリティの向上につながる予定です。
25	本書46P、52P 概要版8P、9P	<p>軟石倉庫を利用した雑貨・家具・インテリアショップを誘致してほしい。</p> <p>軟石倉庫を利用した野菜等が買える店や、ライブ、コンサート会場として利用できたらいい。</p>	軟石倉庫は、篠路地区の歴史を伝える貴重な地域の資源と考えております。一方、現在も営業用倉庫として活用される民間所有の建物であることについてご理解をお願いします。
26	本書46P 概要版8P	旧琴似川を楽しめる空間として整備すべき。	旧琴似川の下流区間（篠路地区含む）は、北海道が整備・維持管理を行う1級河川です。現在も上流側から随時環境改善に向けた河川改修が進められております。空間の活用については、地域主体のまちづくり活動において、地域にある多様な場所をうまく活用しながら多世代が交流できる、笑顔あふれるコミュニティづくりを目指すこととしております。
27	本書47P 概要版8P	地元で地道に活動してきた組織の力が活かされるよう配慮すべき。	本書46Pに示すとおり、地域主体のまちづくり活動を継続させていくには、現在地域で活動されている方々、新たな担い手など、多様な担い手により活動体制が構築されることが重要と考えております。

第3章 まちづくり基本方針（土地利用）

28	本書43P 概要版6P	<p>東エリアと西エリアをつなぐ、駅前エリアは結節点としての役割を果たしてきた。今後も結節点として発展して欲しい。</p> <p>線路により両エリアの交通が分断されているが、住民の精神的な結節点は、駅前エリアである。今後も両地区の結節点は駅と神社のある駅前エリアであることに変わりはない。</p>	篠路駅周辺地区は、鉄道高架事業による東西市街地の分断解消をはじめ、自由通路整備、歩道拡幅、バリアフリー化等により市街地の移動円滑化が図られ、東西エリアと駅前を結ぶ地区住民の生活動線や来街者の回遊性向上が期待されます。東西エリアの中心となる駅前エリアについては、駅前にふさわしい顔づくりを目指します。
----	----------------	--	---

29	本書44P 概要版7P	麻24のバスが篠路地区を外れていることをどのように考えているのか。	バス路線については、バス事業者により地域の皆様の利便性等を考慮して設定されています。なお、篠路駅周辺地区のバス路線は本書22Pに示すとおりです。
----	----------------	-----------------------------------	--

第3章 まちづくり基本方針（北区北部3地区）

30	本書43P 概要版6P	北部3地区と篠路の位置関係がわかりにくい。 「北区北部3地区を支える拠点形成」と記載されているのにその範囲が図示されていない。	北区北部3地区と篠路の位置関係及び主要な交通網について本書3Pに、各地区と篠路を結ぶ公共交通について本書22Pに示しております。これを踏まえ、本書43Pの図では各エリアに日常生活を支える機能をバランス良く配置し、各エリアの機能が連携することにより、北区北部3地区を支える地域交流拠点の形成を図ることを示しております。
31	本書44P 概要版7P	1行目に「駅前エリアは・・・北区北部3地区の行政機能の中心」とあるが、そうなのか。	篠路出張所は北区北部3地区の利便性向上を目指した窓口サービス拡充を行い、様々な行政手続きが可能となっておりますが、表現については修正いたします。 【修正前】駅前エリアは・・・北区北部3地区の行政機能の中心となっておりますが 【修正後】駅前エリアは・・・北区北部3地区の行政機能を支えるエリアとなっておりますが
32	本書48P	「移動が多く」とあるが、具体的にどのぐらいなのか記載すべき。図に凡例などの説明がなく不親切である。	ご意見を踏まえ、凡例を記載いたします。移動割合については図中に示すとおりです。
33	本書50P	このままでは、あいの里は篠路に対して、従属・寄生させるようになると思われる。北区の分区を見据えた準備なのか。	各地区、目指す都市空間に応じた魅力あるまちが形成されることが重要と考えております。また、現時点では分区は予定しておりません。

第3章 まちづくり基本方針（地域主体のまちづくり活動）

34	本書46P	市役所は教育大・医療大生に具体的にどのようなことをやってきたのか。 「多様な担い手」の「学生」とは高校生なのか、大学生なのか、記載すべき。	札幌市では、北海道教育大学札幌校、北海道医療大学札幌あいの里キャンパスを含めた札幌圏内の大学が参画する連携ネットワークを構築し、学生に向けて、札幌市の取組に関する情報発信や新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた情報提供などを行ってきました。 また、教育大学、医療大学の学生との個別の連携事例としては、学生が札幌市のイベントやボランティア事業に参加していただいたり、学生に向けた講座を実施するなどの取組を実施してきたところです。 多様な担い手の「学生」については、高校生や大学生を考えております。まちづくり体制の構築には図に示している方を含めた多様な担い手による体制構築が必要と考え、その一例を示しており、「学生」については限定的な表現であったため、ご意見を踏まえ、修正いたします。 【修正前】図 多様な担い手 【修正後】図 多様な担い手例 【修正前】学生 【修正後】高校生、大学生等
----	-------	--	---

第4章 実現に向けた展開（全体の土地利用）

35	本書52P、56P、59P、概要版9P、12P	<p>【あると良い施設】</p> <p>飲食店（スープカレー、ラーメン、ソフトクリーム、ケーキなど）、図書館、マンガ図書館、図書館カフェ、気軽に自習できるようなオープンスペース、ヨガ・ジム・料理（パンやお菓子）などが習えるカルチャーセンター、街全体が花や緑であふれ、歩いて楽しい街、グリーンショップ、花屋、バスケットコート</p> <p>望ましい機能例に「学生を地域に呼び込める教育機能」とあるが具体的にはどんなものか記載すべき。</p>	<p>具体的な施設については、経済・市場・社会環境等が考慮されるため、土地利用を行う段階で計画で定めたコンセプト等にあった施設の立地について検討してまいります。また、地権者等との協議・調整を進めるとともに、民間ヒアリング調査等の継続により、まちづくりのコンセプトの実現と、事業者等の知識や技術、強みを活かすことができる事業手法を検討します。頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
36	本書52P、56P 概要版9P	<p>高齢化、子育て世代の住宅、学校など問題は様々あるが、具体的な生活が見えないと言葉だけではまちづくりが見えてこない。</p>	<p>本計画の策定にあたっては、概要版2P「1-4検討過程・検討体制」に示すとおり、ワークショップやアンケート等により地域の皆様のご意見を伺いながら進めてきました。また、新型コロナウイルス感染症やデジタル化の進展、建設資材や燃料費などの高騰など今後の社会情勢の変化等に対応していくため、土地利用の具体化段階での地域の状況等についても考慮することが必要と考えております。</p>
37	本書59P 概要版12P	<p>東エリアの土地利用は、駅前エリアの土地利用が決まってからの方がよい。施設だけに目を向けなくて欲しい。</p>	<p>本書60～61Pに示しているとおり、各エリアによって土地利用の可能な時期や、社会基盤整備の進捗などが異なるため、段階的な整備を考えており、早期に利活用が可能な市有地A・Cを先行して具体化を進めていく考えです。駅前街区や市有地Bは地権者、団体等と本計画の考えを共有し、協議を行いながら、これらのまちづくりの進捗に応じた柔軟な活用方法を検討します。適切なタイミングで土地利用を行うことでまちづくりの効果の最大化を目指します。</p>

第4章 実現に向けた展開（駅前街区の土地利用）

38	本書52P 概要版9P	<p>【駅前にあると良い施設】</p> <p>スケボー練習場、温浴施設、地域住民が気軽に交流できる場</p> <p>鉄道の高架下は「時間や空間をシェアできる街づくりを目指して」をコンセプトにした開発をすべき。横新道から篠路駅までの高架前には公園を整備し、高架下にはコンビニ、飲食店、カフェ、書店、100円ショップ、野菜直売所、駐輪場、福祉施設、図書館、託児所などの保育施設などができるとよい。</p>	<p>具体的な施設については、経済・市場・社会環境等が考慮されるため、土地利用を行う段階で計画で定めたコンセプト等にあった施設の立地について検討してまいります。また、駅前街区は民有地であることから、地権者や事業者と本計画の考えを共有し、協議を行いながら、民間ヒアリング調査等の継続により、まちづくりのコンセプトの実現と、事業者等の知識や技術、強みを活かすことができる事業手法を検討します。頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
39	本書52P	<p>他地区の写真の意図が不明。</p>	<p>現時点で具体的な整備は実施されていないため、他都市の類似事例を掲載しております。なお、写真のタイトルについてはわかりにくい表現であったため、修正いたします。</p> <p>【修正前】</p> <p>左：地域の特産品などを扱う魅力的な店舗のイメージ 右：多目的に利用できる空間イメージ</p> <p>【修正後】</p> <p>左：買い物施設や飲食店などの商業機能のイメージ 右：多世代が集まり交流できる機能のイメージ</p>

40	本書58P 概要版11P	篠路出張所は駅前にあった方がよい。複合施設に入る形でもよいと思う。駅前エリアに商業機能、交流機能を誘致できるとよい。バリアフリーに配慮にもすべき。 駅前エリアに商業機能、交流機能を誘致できるとよい。バリアフリー化に配慮すべき。	出張所を含む公共施設については平成29年策定の「札幌市市有建築物及びインフラ施設等の管理に関する基本的な方針」を踏まえ、将来的な配置や複合化など、今後のあり方について検討してまいります。 駅前街区は民有地であることから、地権者と本計画の考えを共有し、協議を行いながら、駅前の生活利便性を向上する商業機能、地域コミュニティの拠点となる交流機能の導入を目指します。また、バリアフリーへの配慮については、設計等の具体的な施設計画の段階で検討・配慮を行っていく必要があると考えております。 篠路出張所へは、駅からのアクセス通路については現在整備を進めております。
41	本書58P 概要版11P	駅前エリアで住民自体の賑わいづくりが盛り上がりを見せれば、この地区での起業を志す者も出てくる可能性はある。	土地利用だけでなく、まちを活用する地域主体の活動が両輪で展開されることを目指します。将来的には、これらのまちづくりが駅前エリアや東エリアの全体に波及し、さらに地区全体へ波及することを期待しています。
42	本書58P 概要版11P	地域交流拠点誘導事業等活用について具体的に記載すべき。	本書52P、概要版9Pに記載のとおり、容積率の緩和や事業費の補助などが考えられますが、具体的な整備計画が見えた段階で、開発内容によりどのような活用をすべきか開発事業者と検討します。
43	本書58P 概要版11P	篠路駅東口にはロータリーを作らず、人も車も高架下を東西に通行できるようにするべき。	JR札沼線により分断されているの東西市街地の往来については、鉄道高架による踏切解消・自由通路整備、地下歩道の撤去・道路整備等により、自動車及び歩行者の移動円滑化が図られる予定です。
44	-	篠路駅を新札幌駅のように駅構内から商用施設に行くことができれば、仕事帰りに買い物を済ませたり、人が集まるスペースができるのではないかな。	買い物を済ませたり、人が集まるスペースについては、駅前街区のまちづくりの中で検討してまいります。 駅前街区は民有地であることから、地権者と本計画の考えを共有し、協議を行いながら、駅前の生活利便性を向上する商業機能、地域コミュニティの拠点となる交流機能の向上に繋がる機能の導入を目指します。
第4章 実現に向けた展開（市有地ABC）			
45	本書59P 概要版12P	現在は東エリアの人口が増加し、ロードサイド店舗も増えたことから、JR札沼線を跨ぐ東西交通の利便性向上が今まで以上に望まれる。	現在鉄道高架事業を進めており、関連して実施する踏切撤去、地下歩道の撤去・道路整備により、JR札沼線で分断されている東西エリアを繋ぐ交通利便性が高まる予定です。
第4章 実現に向けた展開（地域主体のまちづくり活動）			
46	本書54P 概要版13P	社会実験では駅前空間の利用や世代間交流、情報発信が行われ、一定の成果が得られた。	令和4年度の社会実験では出店やワークショップ、情報発信などの地域の皆様の参加をいただき、4日間で約850名の利用があり様々な可能性が確認されたところです。 今後は地域主体のまちづくり活動として、地域の皆様が行いたい活動を支援していきたいと考えております。

47	本書54P 概要版13P	<p>市民が主体で、住みやすくする仕組みづくりをやりたいという人は潜在的にはいる。</p> <p>フリーマーケットや骨董市など、一般市民でも出店者として関わりたいと思っている人はいると思う。将来的な企業家が出てくる可能性もある。</p> <p>月1のイベントや、毎週決まった曜日に行うイベントを定着させ、特色あるまちづくり活動が行われる地区にしたい。</p> <p>人が集まる場所での営業を求めているケータリングカー事業主は多いと考える。</p> <p>まちづくり活動団体の発表の場があると良い。</p> <p>まちづくり活動での出店にはある程度の条件を付けるべき。</p> <p>篠路駅前では気軽に楽しめるまちづくり活動があると良い。</p> <p>篠路駅前において、四季を通じて気軽に楽しめるイベントはできそう（収穫祭、ランタンづくり、小樽雪明りの路など）のようなことはできると思う。</p> <p>雪を利用したイベントがあると良い。</p> <p>5～6月に篠路の地域資源を巡るフットパスを企画したらどうか。</p> <p>北区北部地区の野菜販売を農家の方に提供していただくのはどうか。</p> <p>篠路駅西口側を利用したイベントがあると良い。</p>	<p>地域主体のまちづくり活動については、頂いたご意見を含め様々な可能性があり、個々の取組の内容については参加者の主体性を尊重することが重要であるため、地域の皆様がやりたい活動を支援していきたいと考えております。地域主体のまちづくり活動を継続していくことで多様な担い手の参画に繋がっていくものと考えております。</p>
48	本書54P 概要版13P	<p>社会実験の予算は。</p> <p>社会実験の効果はあったのか。</p>	<p>篠路駅前に広場をつくる社会実験の経費は、令和3年度は約80万円、令和4年度は約60万円です。社会実験では、広場利用の需要や、地域の皆様との連携の可能性を検証しました。令和4年度の実験では4日間で約850人に来場いただきました。また、取組を通じてコミュニティの形成や、地域の伝統文化などの地域情報の発信・継承する場の必要性なども再認識することができました。</p>
49	本書62P 概要版10P	<p>地域住民とあるがこれは連合町内会の範囲と考えているのか。</p>	<p>まちづくり活動を行う「地域住民」は篠路・茨戸地区連合町内会の範囲内の住民のみではなく、広く篠路駅周辺地区に関係する住民の方と考えております。</p>
第4章 実現に向けた展開（社会基盤）			
50	本書58P 概要版11P	<p>バス停の整備を記載すべき。</p>	<p>札幌市では、原則バス路線の運行は民間バス事業者が担っており、上屋やベンチの設置等の待合環境の整備についても、停留所の利用状況や周辺環境等を総合的に勘案した上で、主にバス事業者が実施しているところであります。</p> <p>今後も市内バス事業者と連携を図りながら、利用環境の改善に関する取組を進めていきたいと考えております。</p>

51	本書61P 概要版10P	地域住民の篠路駅へのアクセスをよくするために駅周辺を循環する新たな交通手段を設定してほしい（特に東西方向）。	札幌市では、原則バス路線の運行は民間バス事業者が担っておりますが、全国的なバス運転手不足等をはじめとする課題を抱えており、現状のバス路線をこれまでどおり維持していくことが非常に厳しい状況にあります。 このため、バス路線の廃止等に伴って、近隣に代替できる公共交通機関がない場合に、必要に応じて委託運行による代替交通手段を検討することとしております。 また、路線の延長や新たな路線の開設につきましては、バス事業者において利用状況や採算性等を総合的に勘案した上で判断を行うことになるため、ご要望の趣旨については市内路線バスを運行するバス事業者にお伝えいたします。
52	-	篠路駅東口側から西口側へ自由通路があるとよい。	鉄道高架事業完了後は、歩行者が自由通路を通じて東西エリアの往来が可能となる予定です。

意見の募集方法

53	-	意見募集の方法について、町内会を利用して多く意見を募るべきである。	パブリックコメントの実施にあたっては、広報さっぽろ11月号のお知らせ欄に掲載するとともに、シノナビ（篠路駅周辺地区のまちづくりを伝えるニュースレター）を活用し町内会回覧による事前周知をしております。 また、本計画の策定にあたっては、自由参加のまちづくりワークショップ、アンケートの実施、地域団体や地区の事業者で構成する地域協議会の意見交換、町内会を通じた回覧による地域協議会のご案内と傍聴いただいた地域の皆様へのアンケート等を行ってまいりました。
----	---	-----------------------------------	--

